

## 年頭の辞

九州運輸局交通政策部長 脇野 正博



令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素から九州運輸局の交通政策の円滑な推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

現在も続く新型コロナウイルス感染症の影響は、終息がまだ見えず外出自粛や新しい生活様式など、公共交通を取り巻く事業環境を一層厳しくさせています。九州運輸局としましては、関係事業者の経営状況や関係業界の動向に注視するとともに、各種支援制度の紹介、各事業者の皆さまの経営の継続に向けて必要な助言、感染拡大防止対策への補助等を行ってまいります。

さて、交通・物流は国民生活の安定と経済の健全な発展を支える重要な社会インフラであり、我が国が直面する社会・経済の大きな変化に的確に対応していくことが期待されています。

交通については、過疎地域・離島地域が多いという九州の特徴も踏まえながら、地域公共交通活性化再生法の基本理念の下、国、地方公共団体、事業者、地域住民などの関係者がそれぞれの責務・役割を担いつつ連携・協働し、地域が自らデザインし、地域の移動ニーズにきめ細かく対応できる交通ネットワークの再構築を進めています。同法については令和2年に改正法が施行され、市町村による地域公共交通に関する計画の作成が努力義務化されました。これにより、各地域の交通に関係する全ての者が、新たな計画の下で今一度、相互に連携・協働することが求められることとなります。九州運輸局としましても地域公共交通の維持・活性化に向けて取り組む地方自治体等を全力でサポートしてまいります。

また、今後は、ポスト・コロナ時代を見据えた地域公共交通の活性化が重要となってまいります。九州運輸局としましては、公共交通のデジタル化・システム化などの支援や MaaS やグリーンスローモビリティなどの新モビリティサービスの導入促進、バス情報データの作成・活用による情報提供や経路検索の充実の推進等を進めてまいります。

交通環境対策では、我が国の CO2 排出量の約 5 割を占める運輸、家庭・業務部門の脱炭素化等に戦略的に取り組み、グリーン社会の実現に貢献するため、分野横断・官

民連携の観点から重点的に取り組むプロジェクトをまとめた「国土交通グリーンチャレンジ」を令和3年7月6日に策定したところです。

九州運輸局と致しましては、こうした政府計画に記載された施策を着実に実行し、カーボンニュートラル・脱炭素化に向けて、低公害車の普及、公共交通機関の利用、エコ通勤・エコドライブの推進、グリーン経営の推進などの取組を進めてまいります。

物流については、令和3年6月に閣議決定されました「総合物流施策大綱」で示された物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化の取組、時間外労働の上限規制の適用を見据えた労働力不足の加速対策と物流構造改革の推進、強靱性と持続可能性を確保した物流ネットワークの構築の取組を実行していきます。

九州の地域特性を活かしつつ、引き続き「物流総合効率化法」に基づき、モーダルシフトの推進や輸送網の集約、共同輸配送など、物流の効率化・省力化に向けた取組を支援してまいります。

また、災害に強い物流システムの構築に向けて、東日本大震災や熊本地震、最近の豪雨災害等の教訓を踏まえ、九州各県や事業者団体等と連携し、緊急支援物資の円滑な輸送体制の確保に取り組んでまいります。

さらに、将来の交通・物流事業者における担い手の確保も重要です。九州運輸局では令和2年3月に「九州運輸局人材確保・育成対策応援サイト」を立ち上げ、人材確保・育成に関する各業界の好事例の紹介や各種支援制度の一覧などのお役立ち情報を随時更新しています。そのほか、地元大学・物流事業者との連携による「物流講座」や「施設見学会」などを実施してまいります。

交通分野におけるバリアフリー施策については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとして、「真の共存社会の実現」に向け、各公共交通事業者様と連携しながら、引き続きバリアフリー施策を推進して参ります。

九州運輸局としましては、令和2年の改正法基本方針に基づく新たなバリアフリー化の目標達成に向け、「移動等円滑化評価会議九州分科会」等を通じて地方公共団体、公共交通事業者を始めとする施設設置管理者と連携し、管内の各自治体によるマスタープランや基本構想の策定を促してまいります。また、バリアフリー法の改正において施設設置管理者によるソフト対策の取組強化も盛り込まれたことから、公共交通事業者のソフト基準への適合が円滑になされるよう、「バリアフリー教室」の対象の拡大等によりサポートしてまいりたいと考えております。

結びになりますが、本年の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げますとともに、変わらぬご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます、新年の挨拶といたします。